

黒須田川流入水路ダイオキシン類問題の取組について

1 4月19日立入時の採水調査の速報値

- ・ 麻生区の黒須田川流入水路において、高濃度のダイオキシン類が検出されましたD社に、4月19日に早速立入り、水路への排水の停止などの指導を行うとともに、水路への排水口で、採水を行いました。その速報値が5月2日に得られました。
- ・ 速報値は、480 pg - TEQ / Lで、3月14日採水の2400 pg - TEQ / Lは大幅に下回ったものの、依然として、排水基準の50 pg - TEQ / Lを超えていました（なお、この排水口は4月25日にコンクリートで塞ぎました）。

2 取組の経過

- ・ 市では、4月22日に、速報値に基づき調査結果を公表し、助役を長とする「黒須田川流入水路等ダイオキシン類問題対策本部」を4月23日に設け、発生源に対する緊急対策とともに、下流の黒須田川の水質調査や周辺環境調査及び周辺住民への周知等の必要な対策について、国、県、横浜市等との連絡を取りながら実施する取組を開始しました。
- ・ D社に対して連日立入り調査を行い、施設改善について具体的に指導した結果、4月25日に、D社は問題の排水口をコンクリートで塞ぎ、黒須田川流入水路への排水は完全に止まりました。
- ・ 4月26日に、市議会環境委員会に報告。
- ・ 4月25～26日に、市内の廃棄物処理施設で類似施設を有する5社について、立入り調査を実施しましたが、全施設異常はありませんでした。
- ・ 4月30日に、黒須田川5地点、鶴見川2地点《合流地点前後》の7地点について、横浜市と合同で河川調査を実施しました。
- ・ 5月2日に、4月19日採水の速報値を得るとともに、D社内の湧水と側溝の土を採取しました。
- ・ 5月7日に、行政指導に基づくD社の諸改善でもなお排出基準をクリアできない場合は何らかの行政処分を行うことをD社に通告しました。

3 今後の取組

- ・ 4月25日以降、D社からの水路への排水は止まりましたが、湧水等がありますので、D社敷地内に、貯水マス《容量約400リットル》を設け、敷地内の排水を溜

めており、4月30日に採水した黒須田川及び鶴見川の河川水を含め、その水質についても、現在分析しています。

- ・ 貯水マスに溜まった水については、応急措置として、廃棄物の焼却施設内の沈殿槽にポンプアップし、その後、湿式排ガス洗浄施設（スクラバー）の循環水として使用しています。

循環水に加えた場合の大気中への放出濃度への影響については、念のため、5月9日に測定する予定です。

- ・ 今後は、D社に対する行政指導、横浜市と協力して河川水や地下水などの周辺環境調査を行うほか、周辺住民への説明など必要な取組を行います。

さらに、これらの対策をとったとしても、なお、改善されないようであれば、施設の操業停止を視野に入れた対応を考えていきます。

参考

4月22日に速報値として公表しましたD社からの3月14日に採水した調査結果は、流入水路に排出される排水で、排出基準（50 pg - TEQ / L）を超える2400 pg - TEQ / L、同水路でD社に接する上流部で2.3 pg - TEQ / L、下流部で昼間（午後2時）200 pg - TEQ / L、早朝（3月15日午前6時）65 pg - TEQ / L（環境基準は1 pg - TEQ / L）でしたが、4月26日に得ました確定値と同じ結果でした。

問い合わせ

公害部化学物質担当 TEL 044 - 200 - 2533

水質課 TEL 044 - 200 - 2521

生活環境部廃棄物指導課 TEL 044 - 200 - 2594